

## 学位論文審査の結果の要旨

Shrestha Balaram

本論文は、ネパールにおける小規模金融による女性のエンパワメント獲得に関する実証研究である。ネパールではカースト制度や父権主義的因習制度の中で女性の社会経済的自立が遅れている実態がある。このような状況の中で、小規模金融を契機とした女性のエンパワメント獲得への期待が高まっている。カトマンズ郊外の女性小規模金融組合を事例とした現地調査では、1999年の設立以来この金融組合は順調な発展を遂げてきたが、この背景には共同責任制と共同学習を基盤とした信頼関係による調整力と近代的な金融技術システムの導入を上手く組み合わせた運営があったことが明らかにされている。小規模金融を利用した山羊や鶏の飼育、洋服店、雑貨店、レストラン経営等を通じて、多くの女性が経済的に自立し、社会的地位を向上させたことが確認されている。しかし、組織の拡大や利用者の生活水準の向上に伴って、融資需要の多様化が起こっており、小規模金融組織としてのエンパワメントも求められていることが明らかにされている。

本論文は、ネパールにおける女性小規模金融の実態とその改善課題に関する多くの新しい知見を提供しており、現地調査も踏まえて、それを導き出すための実証分析も適切であり、公表論文も規定を満たしている。本学位論文審査委員会は、全員一致で本論文が博士（農学）の学位を授与するに十分な水準を満たしているものと判断し、合格と判定した。

## 最終試験の結果の要旨

Shrestha Balaram

平成30年6月24日に東京農工大学で学位論文公開発表会を開催し、引き続き学位論文審査委員会による論文内容及び専門知識に関する口頭試問を行った。各審査委員の質問に対する回答は適切であり、本審査委員会は全員一致でシュレスタ君が今後自立した研究者として研究を進めることができる学力と見識を有しており、博士（農学）の学位を授与するに足る資格が有ると判断し、最終試験を合格と判定した。